

わせた 社協だより

第199号

こむねっとひろしま 検索
早稲田社協 ホームページ 地域ポータルサイトこむねっとひろしま

2022.11
(令和4年11月)
発行部数 3000部



スマホの方は
こちらのQRコードでもご覧いただけます♪
<https://www.com-net2.city.hiroshima.jp/02waseda/>

<編集・発行>早稲田学区社会福祉協議会 〒732-0063 広島市東区牛田東二丁目 12-23 早稲田集会所 2F TEL 082-225-3685

お友だち募集中 LINE 公式アカウント



早稲田社協

登録してね♪

早稲田防犯 青パト日記

9月13日(火)早稲田集会所

3年ぶりに広島東警察署と広島県警の先生方をお迎えし【防犯青パト講習】を行いました。当日は平日の午後にも関わらず、防犯委員の約半数の19人にご参加いただきました。内容はパワーポイントによる防犯ボランティアやパトロールの事と青パト制度の話。後半はDVDによる実際に青パトで活動している方の紹介と活動のやり方を学びました。久しぶりの講習で改めて青パトの重要性を学びました。

早稲田学区防犯組合連合会 会長 吉岡 宏明

【夜間の青パト活動】よりお願い

- 夜歩いたり、ランニングをされる方は、
 - ①ライトを持つ
 - ②明るい色の服を着る
 - ③反射テープのタスキを付ける。
 できれば全部が理想ですが2つ以上はお願いします。また、歩道か白線の方を歩いていただければと思います。
- 自転車は夜ライトを付け、左側を通行してください。
- 犬の散歩をされる方、リードは短く、手にライトを持ち、犬にもライト又は反射テープを付けてください。またフンの処理も行い、おしっこには水をかけてください。



9月27日、朝の見守り活動の様子です。早稲田3丁目と4丁目の境、なかよし坂と想い坂の接する交差点は、交通量が多いので事故がおこらないように見守ってくださっています。



青パトとは、“青色回転灯装備車”といい、早稲田学区には3台あります。2007年(平成19年)より活動が開始されました。



第29回 牛田三学区親善スポーツ大会

9月11日(日)東区スポーツセンター他

3年ぶりに29回目の【牛田三学区親善スポーツ大会】が行われました。今回、早稲田学区はソフトボール・グラウンドゴルフ・ペタンク・卓球・ドッジビー・ソフトバレーボール・剣道の7つの競技に参加しました。



ソフトテニスとバドミントンは中学校から毎回参加いただいていたのですが、今回は残念ながら辞退となりました。ソフトテニスは、講習会として実施、バドミントンはフリーで参加という新しい試みで行われました。結果は、皆さんがんばりましたが、総合優勝は逃しました。来年こそは総合優勝できるよう皆さんで頑張りましょう。

次回、第30回大会は早稲田学区の担当となります。早稲田学区体育協会 会長 三上 博



東区PTA連合会親善スポーツ大会

9月17日(土)

東区PTA連合会親善スポーツ大会が3年ぶりに開催されました。3年前までは、東区スポーツセンターで6人7脚という競技を学校対抗で行われていましたが、コロナ禍で密にならない競技を「ボウリング大会」という形で実現する事ができました。早稲田中は、「こんな時だから楽しもう!」をモットーに、校長先生と執行部役員4名で参加しました。



1レーン3名、各学校をシャッフルしてのボウリング大会、最初は緊張しましたが、同じ年頃の子を持つ保護者同士、会話も楽しむ事ができました。

何年ぶり?というくらい久しぶりのボウリング。2ゲームでしたが、帰ってからのお昼寝がいろいろ、とってもいい運動になりました。

早稲田中PTA 会長 庄司 抄織

友楽タイム 「紙飛行機を作って飛ばそう」

9月24日(土)早稲田公民館

「広島紙ヒコーキを飛ばそう会」の代表、中野侃(あきら)氏を講師に迎え、小学校1年生から6年生が、21人参加してくれました。



講師の指導に従い、紙のキットを切り離し、山折り・谷折り・ホッチキスで止めたりしながら、紙飛行機を作りました。苦勞して出来

上がった紙飛行機で、どれくらいの距離を飛ばせるか競争をしました。低学年・高学年それぞれ5回挑戦しました。結果、優勝者は小学校1年生の男児で、その距離はなんと19.9メートル! 公民館ホールの端から端まで



飛ばしました。参加者にとっては、それぞれ明暗が分かれた一日でしたが、最後は元気よく講師の先生にお礼の挨拶をして解散しました。

友楽タイム実行委員 川辺正彦

早稲田学区献血活動

ご協力に対するお礼

9月11日(日)早稲田公民館

早稲田学区公衆衛生推進協議会及び早稲田学区献血推進協会主催の献血にご協力いただきありがとうございました。

【あなたの「献血」が患者さんの“いのち”をすくいます】をスローガンに、一人400mlの献血をお願いしたところ、気持ちよく賛同頂いたことに感謝いたします。

当日は、献血受付者79名、献血者数67名(献血できなかった人12名)のご協力を得ました。来年は5月を予定しています。ひきつづき「愛の献血」にご協力をお願いします。



早稲田学区 公衆衛生推進協議会 会長 荒巻 誠次